

第16期事業報告

(2022年6月1日～2023年5月31日)

■大丸山のハイキングコースに芝生シート植え付け

森林整備事業は、伊東市宇佐美の大丸山における森づくり活動(大丸山プロジェクト)、同じく宇佐美の県道19号「亀石峠」オオシマザクラ植栽地草刈りと伊東市ごみゼロ運動、また「宇佐美の森を守る会」が行う大丸山草刈りの活動に参加するなど年間活動回数18回、66人の参加がありました。

4月に行った大丸山プロジェクト「大丸山ハイキングコース芝生化計画」は伊豆スカイライン沿い登山口から展望広場下までの歩道に350枚の高麗芝シートを植え付けたもの。時間が掛かりますがやがて芝草の根が広がることを期待します。

貴僧坊ECOファーム事業の高校生とのコラボ企画は、昨年度に続いてヒノキ水蒸気蒸留水を応用したビジネスプランを考案するものでした。里山クラブとしては原材料の蒸留水提供までつとめ、商品化は他の事業者を想定していたもののコンテストにはプラン提出に終わりました。

伊東市健康保養地づくり事業関係では城山山頂の鎌田城跡ハイキングコース展望広場に山並みと松川湖を収めた観光看板を設置したほか、城山、大平山に植物解説看板、道標の充実を図りました。大丸山では道不鮮明の仲川コースに階段と誘導ロープの取り付けや支障木処理の活動を行いました。

昨年度5月に発刊した大丸山オリジナルハイキングコースマップは伊東市の協力を得て累計15,000部印刷となりました。

■学校林旭山整備、学校統合で終幕

子どもの健全育成に関わる事業は、伊東市立旭小学校学校林「旭山」整備。6年生卒業記念制作(ヒノキ板の看板)は旭山で遊んだ6年間の思い出を込めてペンキ画を描いてもらいました。市内の学校統合により旭小は50年の歴史に閉幕。里山クラブはあずまや建造など2008年ごろから旭山整備に関わっていました。

■松崎町の浸水家屋でボラ活動

災害ボランティア活動は賀茂郡松崎町雲見地区で発生した河川土砂崩落の被災家屋で活動しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①森林及び里地里山の自然資源の活用と環境改善保持に関する事業	大丸山プロジェクト、亀石峠オオシマザクラ植栽地の草刈りなど	6～5月	伊東市	66	不特定多数	524
	貴僧坊ECOファーム事業(伊東商業高校とのコラボ企画)	8月	伊東市、伊豆市	11	不特定多数	
	その他ハイキングコース整備	7月～5月	伊東市	32	不特定多数	
②次世代の子どもたちを育てるための実践的な事業	伊東旭小旭山森づくり活動、旭山探検クラブ	7～1月	伊東市	19	不特定多数	27
③災害支援事業	賀茂郡松崎町雲見地区災害ボラ活動	8月	松崎町	11	不特定多数	7
④普及啓発事業	「小さな親切」運動連携事業	6月	伊東市	7	不特定多数	0
その他	③事業によりトルコ地震緊急支援寄付金	2月				30
合計				144		588

第17期事業計画

(2023年6月1日～2024年5月31日)

■市内ハイキングコースにピクニックテーブル設置など

森林整備事業はこれまで通りハイキングコース、樹木植栽地の草刈りを進めます。大丸山、亀石峠の森づくりの取り組みは里山クラブの活動の原点です。

伊東市健康保養地づくり事業では、ピクニックテーブル製作を行い大平山ハイキングコースの「馬場の平」草原に2台、大丸山展望広場1台を設置します。樹木解説看板取り付けは大丸山展望広場及び巢雲山ハイキングコース沿いに計16本。また大丸山仲川コースでルートを誤り山中に迷い込む事案があったため道標を設置します。

■「小さな親切」運動連携事業は10月に開催延期へ

今年6月に計画した巢雲山ハイキングコースの階段取付けの活動は悪天候が続き日程調整が難しくなったため10月14日(土)に延期することになりました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①森林及び里地里山の自然資源の活用と環境改善保持に関する事業	大丸山プロジェクト、亀石峠オオシマザクラ植栽地の草刈りなど	6～5月	伊東市		不特定多数	500
	その他ハイキングコース整備委託事業		伊東市		不特定多数	
②次世代の子どもたちを育てるための実践的な事業	未定					
③災害支援事業						
④普及啓発事業	「小さな親切」運動連携事業	10月	伊東市		不特定多数	50
その他	会員装備品の充実など					100
合計						650